

組織現勢 (2月1日現在)

組合員数 19,918人  
 出資口数 91,478口  
 12・1月の新規加入 120人  
 12・1月の増資口数 1,106口

No. 379 再生紙を使用しています。



発行所  
**城南保健生活協同組合**  
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101  
 TEL (3762) 0266  
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店  
 口座(普) 0469459  
 発行 「城南の保健」編集委員会  
 毎月1回発行・定価1部 30円

## 第3回城南文化祭を開催 組合員さんの舞台や作品を発表

2月7日(土)、3回目の文化祭を行いました。会場は大森スポーツセンター。今年も多くのおみなさんにご来場いただきました。

**舞台出演に  
 11グループ**  
 組合員さんの趣味やサークル・班での活動を、舞台と展示に分けて発表しました。舞台には11のグループ・個人の方々が出演。歌や演奏、ダンス、マジック、班会などで練習して



めおとぞか班の生協音頭

**展示作品は  
 16グループ**  
 展示コーナーには16のグループ・個人の方々、絵手紙、書道、ちぎり絵、絵画、写真、パネルなどを出品していただきました。



みちづか729の合唱

**交流・発表の  
 場として**  
 今年で3回目を迎えました



若返り班の創作ダンス

が、毎回組合員のおみなさんのすばらしい舞台や作品で楽しい時間を過ごさせていたいただいています。出演・出展をしてくださったみなさん、ご来場いただいたみなさん、当日お手伝いいただいたみなさん、ありがとうございました。来年も楽しい文化祭を開催したいと思います。



マジシャンのじさん  
 コカリナデュオうぐいす



### 介護保険改定Q&A

2015年4月から、介護保険が改定されます。どのように改定されるのでしょうか？城南福祉医療協会介護事業部長の島田せい子さんにお聞きしました。

#### Q 毎月の介護保険料は変わるの？

変わります。大田区は基準月額5900円。前年より1000円アップ(19段階)します。品川区は基準月額5200円、

#### Q 介護保険を利用した場合に1割から2割の支払いになるの？

要支援、要介護を受けた方に、160万円以上の方については2割負担となります。月額上限があるので、見直し対象の全員の負担が2倍になるわけではありません。

#### Q 特別養護老人ホームには原則要介護3以上の入居が原則なの？

政府は、すでに入居している人はそのまま継続できます。要介護1、2の人でも日常生活が困難な方についての申し込みができるとしています(平成27年4月より実施)。

#### Q 「総合事業」って何？

政府は、従来の要支援者に相当する方の多様な生活支援ニーズに対応するため、訪問型サービス、通所型サービスを実施し、要支援1、2チェックリストで判断された方が対象としています。既存の介護事業所による既存サービスに加え、NPO、民間企業、住民ボランティア、協

#### Q 事業者へ支払われる介護報酬がマイナスになるの？

要支援、要介護を受けた方に、ご自身の負担割合(1割または2割)が記載された「介護負担割合証」が送付されます(平成27年8月より実施)。

城南保健生協では、ヘルパーステーションと認知症対応型グループホームを運営しています。

上記Q&Aのように、大田区、品川区の毎月の保険料の基準額はアップします。65歳以上(介護保険1号被保険者)については大きな負担となります。利用者の1割から2割の負担、特養の原則要介護3以上の入居についても大きな痛手であり後退です。

「総合事業」は今まで介護保険を利用できていた要支援1、2の方が保険から外されるわけですから、こちらも後退と言わざるを得ません。政府は既存サービスの他にNPO、民間企業、ボランティア等による多様なサービスが可能と言っていますが、国の社会保障費を抑制し、自治体任せにするもので、社会保障制度の大きな後退です。ゆくゆくは要支援1、2の方たちも無資格のボランティア等で行う方向が見えてきます。とりわけ介護報酬の大幅な引き下げは、私たち介護事業所の存続さえ脅かす大改悪となっています。

城南保健生協は、今回の介護保険改悪、介護報酬マイナス改定について引き続き国、自治体に、「撤回」「改善」を求めています。

(生協本部 横山)

### 腹八分

石原修という人物をご存じでしょうか。九州大学医学部を明治の末頃に卒業。当時の農商務省社会局に入り、紡績工場

監督官として日本各地の工場を視察してまわる。その中で女工の惨状をつぶさに目にする。今でもそうですが、役人は惨状に目をつぶり、形式的な報告書をつづるのが普通なのに、彼は別であった。彼は紡績工場で働く女工たちの実態を明らかにした。「衛生学上ヨリ見タル女工之現況」がそれです。女工の多くは農村出身の子女であり、それ故に寄宿舎生活を余儀なくされます。それは工場主にとっては、女工たちと社会を隔離させるのに都合のよいことでした。15歳にも満たない少女たちが劣悪な条件下で、昼夜交替で12時間から14時間に及ぶ長時間労働。食事は貧しく、食事に要する時間も20分程。工場の2階が寄宿舎になっており、畳一枚の空間を昼夜交替で利用。そこでは当時「国民病」と言われていた結核が蔓延。次々に少女たちの命を奪っていききました。統計を駆使した石原の著作は細井和喜蔵の『女工哀史』とともに貴重な文献です。少女たちの労働と犠牲は資本家をさらに富ませ、そして軍国日本の重艦になり大砲になっていきました。そして今、かつての女工哀史の時代が蘇ろうとしています。「この道しかない」こんなスローガンの下で若者を再び劣悪な労働条件に追い込み、格差社会を拡大、戦争のできる国づくりへの道を歩もうとする勢力が「いつか来た道」へ国民を導こうとしています。